

2011年度第1回

日本社会福祉学会関東部会運営委員会・議事録

日時：2011年 5月20日土曜日 19:30-21:00

場所：東洋大学白山校舎2号館3階 第1会議室

出席者：大島巖(日本社会事業大学)、森田明美(東洋大学)、竹之内章代(東海大学、社会福祉士会)、月田みづえ(昭和女子大学)、田嶋英行(文京学院大学)、宮島清(日本社会事業大学)、山田知子(大正大学)、贅川信幸(日本社会事業大学)

事務局：大山早紀子、李載徳、宮澤明音(日本社会事業大学)

※順不同、敬称略

報告：

1. 2010年度研究大会の延期とその対応
2. 各部会活動報告

・ニュースレター担当：ホームページやメーリングリストで送付するが、紙媒体も継続して必要である。

議題：

1. 関東部会研究大会について

- ・抄録集は3月予定のものを使用する(強い希望があれば、追加資料とする)。

当日の持ち込み資料は認める

プログラム修正版を4ページ程度で、別冊子にして配布する

- ・自由研究報告の座長など役割分担の一部変更について

高山先生の代わりに福山委員(自由研究報告コメンテータ)、河東田委員の代わりに竹之内委員(特別報告)、贅川委員(自由研究報告コメンテータ)をお願いする。

- ・座長推薦論文奨励賞の設定

自由研究報告の中で座長の推薦がある論文は学会投稿を促す

「推薦」であり「フリーパス」ではない。座長から指名を頂くだけで、論文自体は通常の選考

座長には推薦用紙を記入いただき事務局に送ってもらう

- ・奨励賞：次回以降の検討課題

- ・広報：報告内容に関してホームページ(PDFをダウンロードできるようにする)・メーリングリストも流す
郵送はしない

2. 東日本大震災関係の対応

- ・研究大会で、特別な対応は行わない。
- ・日程が変更になった経緯の説明とともに、シンポジウムにそのニュアンスを入れながら進める。

3. 2010年度決算について

- ・学会本部から、3月21日関東大会の再開催に関する予算の持ち越しが了解されている。

- ・任意団体活動時の関東部会予算の繰越金の扱いについて、規程を整備する必要性。贅川委員が内規の原案を作成する。

4. 2011 年度予算・事業計画

昨年度予算を踏襲し、5月 28 日開催の一般社団法人社会福祉学会総会で承認を得る。

昨年度予算の繰り越しについては、本部の処理方法を確認して、7月 31 日の総会で承認を得る。

事業計画:若手研究者・実践家の研究活動の活性化に重点を置く。

運営委員会は、年に 4 回開催する。

- ・関東部会研究大会は、2012 年 3 月頃開催を予定する。

5. 社会福祉学評論の発行について

- ・これまでのやり方を踏襲する。

- ・編集委員会の体制整備を次回運営委員会で検討する。

6. ホームページの改修、バックナンバーの電子ジャーナル化について

- ・ツイッターのアカウントを作成

- ・8 号以前の執筆者に著作権に関する許諾問い合わせを行う(事務局レベル)

7. 研究奨励賞について

- ・検討を継続し、今年度中に何らかの方針を出す。

8. 関東地域部会の運営委員、幹事、その他の担当者について

- ・今年度の運営委員、幹事→今の役割を継続(役割のある方)

役割のない委員に関しては(大会)→田嶋委員、宮島委員、贅川委員

→具体的な編集(すぐに対応して下さる方)体制を早く強めていきたい

- ・大学推薦運営委員のいない大学には、運営委員推薦のお願いを継続する。

次回:大会当日 7 月 31 日(日)、11:30-12:30